

# 道南太平洋海域スケトウダラニュース

平成13年度 第1号

2001年10月2日

北海道立函館水産試験場室蘭支場

Tel: 0143-22-2327

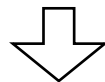
Fax: 0143-22-7605

## 道南太平洋スケトウダラ計量魚探調査結果

函館水試調査船金星丸により行われたスケトウダラ計量魚探調査の結果をお知らせします。

- ・調査期間：平成13年9月8日～9日
- ・調査海域：道南太平洋の水深100～600m海域

水温は水深200m以深で例年より0～2 低め  
分布域は胆振から噴火湾口部  
分布水深は例年同様300m前後  
スケトウダラの平均反応量は前年の約半分



- ・漁場は例年同様漁期はじめに水深300m前後に形成
- ・魚の来遊が昨年と同様に遅れている可能性

1. スケトウダラの分布する200m以深の水温は平成9～10年の平均と比較して0～2 程度低めでした。
2. スケトウダラは胆振から噴火湾口部にかけて分布していました(図1)。
3. 反応は胆振側海域で強い値を示しました(図1)。
4. スケトウダラの分布水深帯は、250～450m(中心は280～330m)でした。
5. 調査海域の平均反応量は、昨年の約半分でした(図2)。
6. 現在のところ水温環境はスケトウダラにとって好適なようです。
5. スケトウダラの分布水深は、例年と同じですので、漁期はじめには例年同様水深300m前後に形成されるでしょう。
7. 調査時のスケトウダラ反応量が低かったことから、魚の漁場への来遊が遅れている可能性があります。昨年同様、漁獲のピークが遅くなる可能性がありますので、10月の漁獲状況に注意して下さい。
8. 漁期前計量魚探調査の結果は、漁期はじめの状態を推測するための調査です。漁期全体の状況を調べるために、11月にもう一度調査を行う予定です。

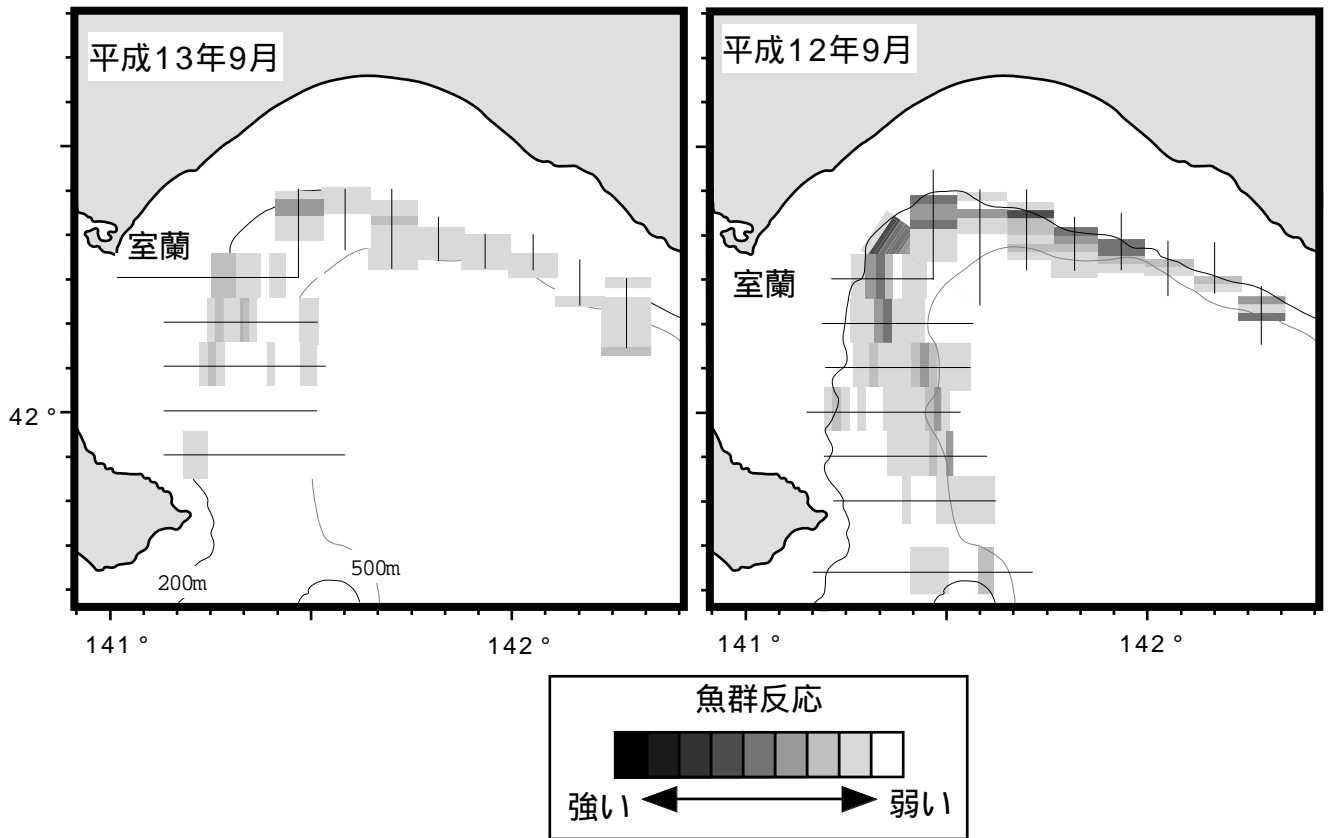


図1. 平成12、13年9月のスケトウダラの分布（計量魚探調査結果）

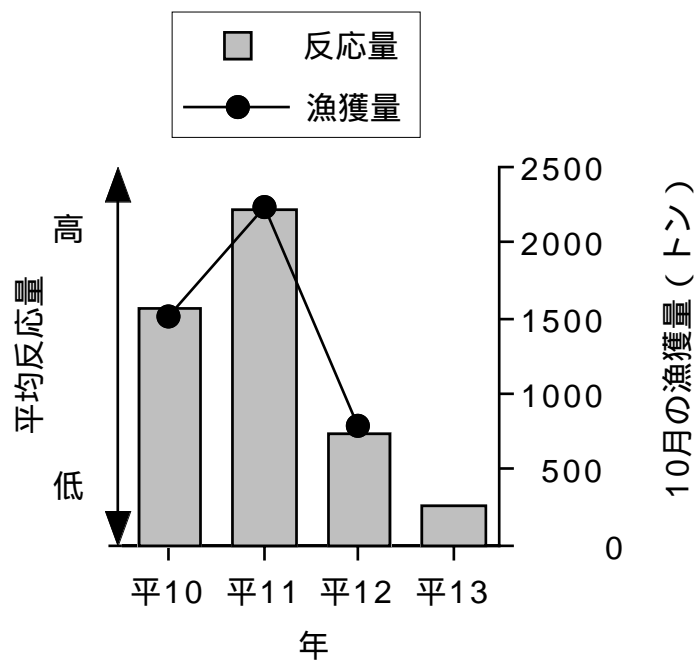


図2. 9～10月のスケトウダラ平均反応量（計量魚探調査）と10月の漁獲量